

## 平成29年3月期 第1四半期連結決算概要

平成28年7月29日  
住友化学株式会社

(単位: 億円)

### 1. 業績

	平成28年3月期 第1四半期	平成29年3月期 第1四半期	増減
売 上 高	5,566	4,566	△1,000
営 業 利 益	332	253	△79
経 常 利 益	498	258	△239
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	340	122	△217
1株当たり四半期(当期)純利益	20円78銭	7円48銭	△13円30銭
自己資本四半期(当期)純利益率(ROE)	4.2%	1.7%	△2.5%
平均為替レート(円／\$)	121.43	108.04	—
ナフサ価格(円／K L)	48,800	31,500	—

平成29年3月期 (予想)	平成28年3月期
20,300	21,018
1,400	1,644
1,500	1,712
800	815
48円95銭	49円84銭
10.2%	10.5%
110.00	120.15
36,000	42,800

### 2. 部門別売上高・営業利益

(単位: 億円)

	平成28年3月期 第1四半期	平成29年3月期 第1四半期	増減
石油化学会社	売 上 高	1,985	1,370
	営 業 利 益	69	18
エネルギー・機能材料	売 上 高	525	470
	営 業 利 益	0	7
情報電子化学会社	売 上 高	1,041	860
	営 業 利 益	73	14
健康・農業関連事業	売 上 高	820	640
	営 業 利 益	161	91
医薬品	売 上 高	1,062	1,117
	営 業 利 益	58	153
その他	売 上 高	134	109
	営 業 利 益	11	8
全社費用等	売 上 高	—	—
	営 業 利 益	△41	△38
合 計	売 上 高	5,566	4,566
	営 業 利 益	332	253

平成29年3月期 (予想)	平成28年3月期
5,900	6,571
170	288
2,150	2,090
60	28
3,700	3,845
170	199
3,550	3,590
650	775
4,400	4,355
430	427
600	566
70	78
—	—
△150	△150
20,300	21,018
1,400	1,644

(※) 当第1四半期連結会計期間からセグメントの変更を行っており、前年同四半期および前期実績値についても、比較のため組替を行っております。  
セグメント変更の詳細については、添付資料10ページをご参照ください。

### 3. 要約連結損益計算書

(単位：億円)

	平成28年3月期 第1四半期	平成29年3月期 第1四半期	増 減
売 上 高	5,566	4,566	△1,000
當 業 利 益	332	253	△79
持 分 法 投 資 損 益	148	102	△46
為 替 差 損 益	18	△93	△111
そ の 他	0	△4	△4
經 常 利 益	498	258	△239
事 業 構 造 改 善 費 用	△8	△5	3
投 資 有 価 証 券 売 却 益	60	-	△60
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	549	253	△296
法 人 税 等	△130	△48	83
四 半 期 純 利 益	419	206	△213
非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	△79	△84	△4
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	340	122	△217

### 4. 要約連結貸借対照表

(単位：億円)

	平成28年3月期末 現 在	平成29年3月期 第1四半期末 現 在	増 減		平成28年3月期末 現 在	平成29年3月期 第1四半期末 現 在	増 減
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	11,879	11,549	△330	支 払 手 形 及 び 買 掛 金	2,052	1,896	△156
現金及び預金	1,366	1,680	315	有 利 子 負 債	8,315	8,900	585
受取手形及び 売掛金	4,148	3,848	△300	そ の 他	5,347	4,713	△634
たな卸資産	4,023	3,894	△129	負 債 合 計	15,714	15,509	△204
そ の 他	2,343	2,128	△215	(純資産の部)			
固定資産	14,742	14,139	△603	株 主 資 本	6,437	6,462	25
有形固定資産	6,422	6,206	△215	その他の包括利益累計額	1,232	641	△591
無形固定資産	1,873	1,720	△153	非 支 配 株 主 持 分	3,239	3,076	△163
投資その他の資 産	6,448	6,213	△235	純 資 産 合 計	10,908	10,179	△729
資 産 合 計	26,622	25,688	△933	負 債 ・ 純 資 産 合 計	26,622	25,688	△933

## 5. 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	平成28年3月期 第1四半期	平成29年3月期 第1四半期	増減	平成28年3月期
営業キャッシュ・フロー	△37	△94	△57	2,612
投資キャッシュ・フロー	8	△348	△355	△537
差引(フリー・キャッシュ・フロー)	△30	△442	△412	2,075
財務キャッシュ・フロー	453	525	72	△1,780
その他の	33	△172	△204	△143
現金及び現金同等物の増減	456	△88	△544	153

# 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 住友化学株式会社

コード番号 4005 URL <http://www.sumitomo-chem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 十倉 雅和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 佐々木 啓吾

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

TEL 03-5543-5160

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	456,555	△18.0	25,326	△23.7	25,848	△48.0	12,216	△64.0
28年3月期第1四半期	556,587	△0.1	33,190	74.0	49,751	90.4	33,958	141.6

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 △55,582百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 60,798百万円 (331.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
29年3月期第1四半期	円 銭 7.48	円 銭 7.45
28年3月期第1四半期	20.78	20.72

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	2,568,834	1,017,901	27.7
28年3月期	2,662,150	1,090,776	28.8

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 710,334百万円 28年3月期 766,874百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 —	円 銭 6.00	円 銭 14.00
29年3月期	—				
29年3月期(予想)		7.00	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 6円00銭 記念配当 2円00銭

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	960,000	△10.8	50,000	△32.7	55,000	△45.2	25,000	△58.9
通期	2,030,000	△3.4	140,000	△14.9	150,000	△12.4	80,000	△1.8

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	1,655,446,177 株	28年3月期	1,655,446,177 株
29年3月期1Q	21,217,490 株	28年3月期	21,206,065 株
29年3月期1Q	1,634,232,489 株	28年3月期1Q	1,634,346,214 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、潜在的なリスクや不確定な要因を含んでいます。実際の業績等に重大な影響を与える主な要因としては、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、製品市場における需要動向、競争激化による販売価格の下落、原材料の価格の上昇、為替相場の変動があります。但し、業績に変動を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

## 【添付資料】

添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1)	経営成績に関する説明.....	2
(2)	財政状態に関する説明.....	3
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3.	四半期連結財務諸表.....	4
(1)	四半期連結貸借対照表.....	4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記).....	8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
	(セグメント情報等).....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期連結累計期間（以下、「前年同四半期」）に比べ1,000億円減少し、4,566億円となりました。損益面では、営業利益は253億円、経常利益は258億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は122億円となり、それぞれ前年同四半期を下回りました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別の業績の概況は次のとおりです。  
(石油化学)

石油化学品や合成樹脂は原料価格の下落により、市況が下落しました。また、千葉工場の石油化学事業再構築の影響により、石油化学品の出荷も減少しました。更に円高による在外子会社の邦貨換算差の影響もありました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ、615億円減少し1,370億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ52億円減少し18億円となりました。

#### (エネルギー・機能材料)

アルミニウムは市況が大きく下落しました。一方、レゾルシン（接着剤用原料）やエンジニアリングプラスチックスは需要の増加により、出荷が増加しました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ、55億円減少し470億円となりましたが、営業利益は前年同四半期に比べ7億円増加し7億円となりました。

#### (情報電子化学)

タッチセンサーパネルは、販売価格は下落しましたが、需要の増加により出荷は増加しました。偏光フィルムは販売価格の下落に加え、出荷も減少しました。また、円高による在外子会社の邦貨換算差の影響もありました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ、181億円減少し860億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ59億円減少し14億円となりました。

#### (健康・農業関連事業)

メチオニン（飼料添加物）は市況の下落により、減収となりました。農薬は海外での出荷が減少しました。更に円高による影響もあり、この結果、売上高は前年同四半期に比べ、180億円減少し640億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ70億円減少し91億円となりました。

#### (医薬品)

国内では、アイミクス（高血圧症治療剤）やトレリーフ（パーキンソン病治療剤）等の販売が拡大しましたが、薬価改定や長期収載品の出荷減少の影響が大きく、減収となりました。北米では、ラツーダ（非定型抗精神病薬）を中心に堅調に販売が拡大しました。一方、円高による在外子会社の邦貨換算差の影響がありました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ、55億円増加し1,117億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ95億円増加し153億円となりました。

#### (その他)

上記5部門以外に、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務、物性分析・環境分析等を行っております。これらの売上高は前年同四半期に比べ、25億円減少し109億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ3億円減少し8億円となりました。

※当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法を変更しており、当四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

なお、持分法投資利益は前年同四半期に比べ、46億円減少し、102億円となりました。

ペトロケミカル コーポレーション オブ シンガポール（プライベート） リミテッドは良好なマージンにより好調な業績が続きましたが、ラービング リファイニング アンド ペトロケミカル カンパニーは定期修繕からの立ち上げ遅れにより、業績が悪化しました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ933億円減少し2兆5,688億円となりました。前連結会計年度末に比べ円高となったことにより、在外資産等の邦貨換算額が減少したことが主な要因です。

負債は、前連結会計年度末に比べ204億円減少し1兆5,509億円となりました。有利子負債（短期借入金、1年内償還予定の社債、コマーシャル・ペーパー、社債および長期借入金の合計でリース債務を除く）は前連結会計年度末に比べ585億円増加し、8,900億円となりました。一方で未払法人税等や支払手形及び買掛金が減少しました。

純資産（非支配株主持分を含む）は、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額の減少により、前連結会計年度末に比べ729億円減少し1兆179億円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて1.1ポイント低下し、27.7%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月11日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ・ 税金費用の計算

一部の連結子会社では、税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産及び繰延税金負債の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産及び繰延税金負債の額との差額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金及びその他の包括利益累計額に加減しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	136,554	168,008
受取手形及び売掛金	414,809	384,793
有価証券	81,041	40,948
商品及び製品	283,037	268,178
仕掛品	13,229	17,512
原材料及び貯蔵品	105,989	103,663
その他	154,889	173,434
貸倒引当金	△1,619	△1,597
流动資産合計	1,187,929	1,154,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	244,553	231,435
機械装置及び運搬具（純額）	249,332	232,010
その他（純額）	148,281	157,193
有形固定資産合計	642,166	620,638
無形固定資産		
のれん	82,647	75,060
その他	104,615	96,915
無形固定資産合計	187,262	171,975
投資その他の資産		
投資有価証券	469,319	454,323
退職給付に係る資産	53,800	53,723
その他	122,535	114,145
貸倒引当金	△861	△909
投資その他の資産合計	644,793	621,282
固定資産合計	1,474,221	1,413,895
資産合計	2,662,150	2,568,834

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	205, 188	189, 614
短期借入金	148, 235	174, 500
1年内償還予定の社債	55, 000	35, 000
コマーシャル・ペーパー	24, 000	82, 000
未払法人税等	42, 220	16, 842
売上割戻引当金	49, 224	47, 546
その他の引当金	50, 853	33, 844
その他	214, 710	207, 023
<b>流動負債合計</b>	<b>789, 430</b>	<b>786, 369</b>
<b>固定負債</b>		
社債	247, 000	247, 000
長期借入金	357, 270	351, 497
引当金	22, 218	22, 282
退職給付に係る負債	35, 824	35, 445
その他	119, 632	108, 340
<b>固定負債合計</b>	<b>781, 944</b>	<b>764, 564</b>
<b>負債合計</b>	<b>1, 571, 374</b>	<b>1, 550, 933</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	89, 699	89, 699
資本剰余金	23, 475	23, 391
利益剰余金	539, 490	542, 089
自己株式	△8, 953	△8, 958
<b>株主資本合計</b>	<b>643, 711</b>	<b>646, 221</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	84, 901	82, 968
繰延ヘッジ損益	△702	△1, 141
土地再評価差額金	4, 472	4, 472
為替換算調整勘定	34, 772	△21, 171
退職給付に係る調整累計額	△280	△1, 015
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>123, 163</b>	<b>64, 113</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>323, 902</b>	<b>307, 567</b>
<b>純資産合計</b>	<b>1, 090, 776</b>	<b>1, 017, 901</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>2, 662, 150</b>	<b>2, 568, 834</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
売上高	556,587	456,555
売上原価	389,571	298,331
売上総利益	167,016	158,224
販売費及び一般管理費	133,826	132,898
営業利益	33,190	25,326
営業外収益		
受取利息	753	723
受取配当金	2,281	2,446
持分法による投資利益	14,774	10,223
為替差益	1,777	—
雑収入	1,733	1,884
営業外収益合計	21,318	15,276
営業外費用		
支払利息	3,059	2,649
コマーシャル・ペーパー利息	31	—
為替差損	—	9,332
雑損失	1,667	2,773
営業外費用合計	4,757	14,754
経常利益	49,751	25,848
特別利益		
投資有価証券売却益	6,005	—
特別利益合計	6,005	—
特別損失		
事業構造改善費用	820	518
特別損失合計	820	518
税金等調整前四半期純利益	54,936	25,330
法人税等	13,031	4,755
四半期純利益	41,905	20,575
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,947	8,359
親会社株主に帰属する四半期純利益	33,958	12,216

## 四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	41,905	20,575
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,521	△3,922
繰延ヘッジ損益	2	△537
為替換算調整勘定	13,264	△58,709
退職給付に係る調整額	△2,768	△346
持分法適用会社に対する持分相当額	874	△12,643
その他の包括利益合計	18,893	△76,157
四半期包括利益	60,798	△55,582
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,094	△46,738
非支配株主に係る四半期包括利益	13,704	△8,844

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はない。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はない。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	石油化学	エネルギー・ 機能材料	情報電子 化学	健康・農業 関連事業	医薬品	計			
売上高									
外部顧客への 売上高	198,461	52,520	104,059	82,011	106,174	543,225	13,362	—	556,587
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,683	1,951	118	720	2	5,474	12,318	△17,792	—
計	201,144	54,471	104,177	82,731	106,176	548,699	25,680	△17,792	556,587
セグメント利益	6,940	45	7,260	16,122	5,812	36,179	1,129	△4,118	33,190

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務および物性分析・環境分析業務等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額△4,118百万円には、セグメント間取引消去331百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,449百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究費等である。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はない。

## II 当第1四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	石油化学	エネルギー・ 機能材料	情報電子 化学	健康・農業 関連事業	医薬品	計			
売上高									
外部顧客への 売上高	136,966	46,985	86,002	64,038	111,663	445,654	10,901	—	456,555
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,597	1,559	235	1,202	4	4,597	11,374	△15,971	—
計	138,563	48,544	86,237	65,240	111,667	450,251	22,275	△15,971	456,555
セグメント利益	1,781	717	1,402	9,100	15,309	28,309	818	△3,801	25,326

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務および物性分析・環境分析業務等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額△3,801百万円には、セグメント間取引消去111百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,912百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究費等である。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はない。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、セグメントの区分方法を以下のように変更している。

- 「情報電子化学」に含まれていた電池部材およびエンジニアリングプラスチックスを「エネルギー・機能材料」に移管した。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを作成している。